



学校だより



四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

グッド・コミュニケーション

— 言葉の大切さについて考えよう —

学校長 貴志 年秀

学校の周りの田んぼには次々と水が張られ、トラクターで代掻き（しろかき）をする農家の方が、忙しそうに働いていらっやいます。

田植えが終われば、あちこちの田んぼから聞こえてくるカエルの大合唱が、教室で勉強する子どもたちの耳にも聞こえてくるでしょう。



さて、今日はお家の方々と子どもたちとの“会話”のお話です。

次のようなシチュエーションの場合、お家の皆さんなら、子どもたちのどんな声かけをするのでしょうか？

課題Ⅰ

めずらしく子どもがゴミ出しをしてくれました。あなたは、子どもに《ありがとう》の後にどんな言葉をつけますか。

- (A) えらいね、とても気がきくね！
- (B) 助かったわ、うれしいな！！

AとBの違いは結論から言うと、主語の違いです。

Aの主語は「子ども」であり、私の子どもに対する評価になっています。

対してBの主語は「私」で、私の思い・気持ちを素直に伝えていることになります。

日本語は主語が省略されることが多いので難しいと言われていますが、主語が変わると伝えるメッセージも変わるものです。なるべく(B)のように、子どもにも自分の気持ちを伝えたいものですね。

課題Ⅱ

ゲームに夢中で、なかなか宿題をしようとしていない子に対して、子どものやる気をなくす言い方と子どものやる気を育てる言い方を考えてみましょう。

お家の人の口から出てきそうな言葉は次のようなものでしょうか？

- ・「ええ加減に 下さい！」
- ・「もうゲーム取り上げてしまえ！」
- ・「ゲームばかりしていたらア○になるで！」
- ・「お兄ちゃんは時間決めてやっているのにあんたはもう！」

決めつけ、頭ごなしの威圧や脅し、兄弟や友だちとの比較など、子どものやる気をなくす言い方をしてしまいそうですね。

では、具体的にどんな言い方で子どもを諭せばよいのでしょうか。じっくり考えても、案外難しいものですよ。これをお読みの皆さんも冷静な時にゆっくり考えて欲しいものです。ただし、あまり言葉を神経質に考えると、コミュニケーションがますます貧弱になり、最後は『沈黙は金なり』の世界に入ってしまう。

大切なことは、考えや価値観が違って、相手の存在を認め受け止めるだけの心のゆとりを持って対話することだと思います。

子どもと一緒に湯ぶねにつかりながら、その日一日の出来事を聞いてやる、時間と心のゆとりがほしいものです…！



むし歯予防 Day の取り組み

6月4日は“むし歯予防デー”、また、4日から10日までは“歯の衛生週間”になっています。本校でもこの期間に3年生が、プラーク（歯垢）テスターを使って、歯磨きの磨き残しを調べたり、正しい歯磨きの仕方について学習したりしています。たかがむし歯1本とあなどってはいけません。奥歯が1本なくなっただけで、噛む力は約35%も低下すると言われています。お家でも、毎食後の歯磨きや、定期的な歯の検診など、家族揃っての取り組みをお願いします。

6月行事

日	曜	行事予定
1	金	登校指導 セーフティネット
2	土	子どもセンター(和菓子)
3	日	子どもセンター(キャラバン隊)
4	月	あいさつ運動 4年社会見学 カウンセラー来校
6	水	午後先生方研修のため13時下校(2-1は下校14:30)
7	木	加太合宿1日目 移動図書
8	金	加太合宿2日目 市民憲章切(5年を除く)
9	土	開校記念日(34周年)
11	月	集金 市民憲章切(5年生)
12	火	集金
13	水	校内研究授業(3-2)
14	木	授業参観 懇談バザー用品受付(22日まで)
15	金	大掃除・集会(4・6年)
16	土	子どもセンター(護身術教室)
18	月	交通安全教室(2限低学年・3限高学年)・プール掃除・カウンセラー来校
19	火	頭髪トークの日
21	木	移動図書
23	土	子どもセンター(アーチェリー) 学校美術展(わかやま館)9:30~16:30
24	日	学校美術展(わかやま館)9:30~16:30
25	月	プール開き・禁煙教室(5年)
27	水	校内研究授業(なかよし学級)
30	土	子どもセンター(ヨット教室)

鈴掛の木 (スズカケノキ)

歌の歌詞や物語によく出てくる木です。知らず知らずのうちに口ずさむ歌の中に出てきます。お話では『銀河鉄道の夜』にでてきます。木についた実が楽器の鈴に似ているところからこの名前がつけました。もちろん、四箇郷北小学校にも植えられています。一度親子で探してみませんか。(別名プラタナスといいます。)



少し我慢する心を

今はとても豊かな社会になりました。子どもたちは小さいときから望みをかえられて育ってきました。「・・・がほしい」と自分の思いがそのまま通ると思い込んでいる子どももたくさんいます。我慢する大切さを話してやってください。それが一番の非行防止のポイントかもしれませんね。